

# 北海道R住宅

道内  
160戸  
限定

改修  
工事費の  
1/3以内  
上限200万円

※定められた要件を満たす木造戸建て住宅(在来軸組、枠組壁工法のみ)のリフォーム工事に、補助金が交付されます。

★わが家の安心&省エネ、高性能住宅へのリフォームに!

★高性能にリフォームした既存住宅の購入に!

## 国の補助金が 受けられます



国の補助金対象は  
「北海道R住宅システム・プロジェクト」  
の住宅です

「北海道R住宅システム・プロジェクト」は、「国土交通省『平成22年度(第1回)長期優良住宅先導事業』」に採択された事業で、国の補助金を受けることができます。道内の住宅改修事業者、不動産流通事業者、建築設計事務所からなる「北海道R住宅事業者ネットワーク」が事業主体となり、耐震性や省エネルギー性を向上させる住宅リフォームに取り組みます。

なお、この事業で補助金を受けられるのは、木造戸建て住宅(在来軸組と枠組壁工法のみ)で、裏面の補助要件をすべて満たすリフォームを行った住宅です。

Before(リフォーム前)



After(リフォーム後)

補助金の  
対象となる

TOPIX

住宅のリフォーム & リフォーム済み住宅購入に

新築同様の最長35年住宅ローン  
のご利用が可能です!!

※詳しくは、北洋銀行「ほくよう住宅ローン(フルリフォームプラン)」商品説明をご確認ください。

北海道R住宅事業者ネットワーク

事務局/株式会社シー・アイ・エス計画研究所  
〒001-0010 札幌市北区10条西3丁目13番地 NKエルムビル3F  
TEL.011-706-1117 FAX.011-706-1113 E-mail:keikaku@cis-ins.co.jp

ホームページをご覧ください

<http://hokkaido-r.jp>

検索

しっかり

きっちり

# リフォームで 補助金がもらえて、

しかも

安心

快適

## 補助金を受けるための要件

### 1. 北海道住宅検査人が住まいをチェック、改修内容をアドバイス!

施工業者とは異なる一定の資格を持った第三者の北海道住宅検査人\*1が目視と検査機器により、住宅の劣化や不具合などの現況調査を実施し、その結果を記したカルテを作成。現況調査結果を踏まえ、客観的な立場から、所有者などに対して、「長く暮らせる住まい」に必要な改修内容などをアドバイス。

### 2. 長く安心して暮らせるための、性能向上リフォーム(以下をすべて満たす性能向上リフォームを行います)

#### ① 耐久性

- ・気密性能の向上→相当隙間面積C値:2.0cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>以下(次世代省エネ基準[地域同等])とする。\*2
- ・通気層工法などの採用
- ・土台の防腐処理
- ・床下の防湿処理
- ・乾燥木材の使用

#### ② 耐震性

昭和56年6月改正の建築基準法に基づく「新耐震設計基準」と同等、またはそれ以上の耐震性能を確保

#### ③ 省エネルギー性

- ・熱損失係数→Q値:1.6W/m<sup>2</sup>K以下(次世代省エネ基準[地域同等])とする\*3

#### ④ 既存設備の点検・交換・更新

#### ⑤ 住宅の安全性:住宅用火災警報器の設置義務の徹底

- ※耐久性・省エネルギー性の向上については、BIS認定制度\*4の登録技術者が関わること。
- ※施工中の見学会を1日以上、完成時には1週間以上の住宅公開。

### 3. 改修履歴の記録と保管(北海道R住宅サポートシステムの利用)

北海道R住宅サポートシステム(既存住宅用の改修履歴の記録・保管システム)を通して、現況調査、設計・施工データ、維持管理計画、気密測定結果などに関する記録の作成と保管を行う。

このサポートシステムは、改修履歴の記録・保管の各手続きを通して、現況調査から設計、施工、住宅品質表示に至る改修全体の質と信頼性を高め、適切な維持管理・修繕で良好な状態を保ち、「良質な住宅として長く大切に使える」住宅を普及させるためのしくみです。

### 4. 改修後の住宅の性能・品質の表示

耐震性能・耐久性・省エネルギー性能・高齢化対応などの項目について、性能レベルを表示。

改修後のわが家や購入を検討している住宅が、どのような性能レベルにあるかが、ひと目でわかるように表示。



### \*用語解説

- \*1. 北海道住宅検査人登録制度/木造戸建住宅の性能及び改修に必要な専門知識を有する技術者(建築士)が、実務経験を活かし、既存住宅の現況調査や改修工事の計画・設計・施工の助言を行う。登録要件は、建築士であること、木造戸建住宅の検査・審査の業務実績があること、指定登録講習会の受講者であること、の全てを満たすこと。登録業務は、社団法人北海道建築技術協会が実施。
- \*2. C値(相当隙間面積)/気密性能を表す。数値が小さいほど性能が高い。
- \*3. Q値(熱損失係数)/断熱性能を表す。数値が小さいほど性能が高い。
- \*4. BIS認定制度/以下の2つの資格があります。
  - ①BIS(ビス): 断熱・気密・換気・暖房などについて高度な専門知識を持ち、正しい設計や精度の高い施工方法などを指導できる技術者
  - ②BIS-E(ビス-イ): 住宅等の適切な断熱・気密施工技能を有し、これを指導できる技術者。
 ※BISとBIS-Eの両方の資格を持つ技術者をBIS-M(ビス・マスター)と呼びます。

### \*留意事項

- 平成23年1月中旬までに工事完了し、指定する期日までに実績報告書を国審査機関に提出できるものが補助対象となります(補助金申請等の手続きについては、規約締結の上で、施工業者が代表して行うことができます)。補助金は平成23年3月末以降に支払われる予定です。
- 補助金は改修工事費の1/3以内、かつ1戸あたり上限200万円です(当プロジェクトとしての全体補助申請戸数によっては、1戸あたり200万円にならない場合があります)。また、本事業としての補助金限度額、1社あたりの補助対象配分戸数の上限に達した場合は、要件をすべて満たす場合であっても、補助対象とならない場合があります。
- 建築設備として通常、住宅に組み込まれて設置されるものは補助対象となりますが、建築主が分離して購入可能なもの(例:エアコン・カーテン・組み込みではない照明器具など)は補助対象外です。
- 改修工事にとりまわらず一般管理費、設計計画費、諸管庁申請費、地盤調査費、北海道住宅検査人による現状調査費、耐震基準適合証明費、気密性能測定試験費は補助対象外です。
- 補助金を受けた住宅については、補助事業完了後も善良な管理者の注意をもって管理し(善管注意義務)、補助金交付の目的に従って効率的運用を行うこととなっていますので、売却することは認められません。

## 北海道R住宅事業者ネットワーク

◎私たちが補助金の対象となる住宅リフォーム工事をいたします

- 石狩管内 —
- 札幌市中央区
  - エス・デー・ビー興発(株)
  - コエーティ(株)
  - 沢井建築工房
  - マイホームサーチ(株)
  - リノベーションアクション
  - 札幌市北区
  - 札幌市東区
  - 三王工務店
  - 拓友建設(株)
  - ハウジング光陽
  - 札幌市東区
  - 福住
  - 勇和建設(株)
  - 札幌市白石区
  - 奥野工務店
  - トレーダー

- 札幌市厚別区
- 土屋ホームトピア
- リビングワーク
- 札幌市豊平区
- 大平洋建設(株)
- 竹内建設(株)
- 札幌市清田区
- 高橋十郎工務店
- 札幌市南区
- 丸繁 赤坂建築
- 三王建設興産(株)
- シノザキ建築事務所(株)
- 太平ホーム北海道
- 久末弘信建設(株)
- プラザ
- 丸作 吉田建産(株)
- メデル 蝦名建業

- やまもく
- 札幌市手稲区
- 札幌ホームテック(株)
- テーエム企画
- はあとふるホーム
- 札幌市
- キクザワ
- 札幌市
- 丸三ホクシン建設
- 渡島管内
- 札幌市
- 渋谷建設(株)
- 鳴海建設(株)
- 福地建築
- 七飯町
- 東商建設
- 八雲町
- 山野内建設

- 後志管内 —
- 小樽市
  - 北建建
  - 竹下建材店
  - 空知管内 —
  - 岩見沢市
  - 武部建設(株)
  - 山本建業(株)
  - 上川管内 —
  - 旭川市
  - アクト建築工房(株)
  - 芦野組
  - 石山工務店(株)
  - 大城建設(株)
  - 力ワム工務(株)
  - 旭川栄工務店(株)
  - 鈴木工務店(株)
  - 東陽 A P

- 真下建設
- 名寄市
- 大野組
- 富良野市
- 軽米組
- 網走管内 —
- 札幌市
- アトホーム
- 竹口組
- 美幌町
- 高橋工務店
- 胆振管内 —
- 室蘭市
- 住宅夢工房阿部
- 釧路市
- 北翔建設

- 十勝管内 —
- 帯広市
  - 伊善建設
  - 北のハウス
  - 釧路市
  - 朝倉建設工業
  - 釧路管内 —
  - 札幌市
  - 伊藤建業
  - ★設計事務所(専業)
  - 札幌市中央区
  - アークシップアソシエイツ
  - 札幌市白石区
  - 拓建築設計事務所

くわしくは私たちまでおたずねください

